

日本国際理解教育学会

第 23 回研究大会プログラム

主 催

日本国際理解教育学会

協 賛

広島県教育委員会

後 援

広島経済大学

会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本国際理解教育学会第 23 回研究大会を下記の日程で開催することになりました。会員の皆様はもとより、国際理解教育に興味をお持ちの方々にも、お誘い合わせの上、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

第 23 回研究大会実行委員長 田中 泉

大会会場：広島経済大学（広島市安佐南区祇園 5 丁目 37-1）

大会日程：2013 年 7 月 6 日（土）・7 日（日）

第 1 日 7 月 6 日（土）

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	17:00	18:15	20:15
受付	自由研究発表	昼食	総会	シンポジウム	移動	懇親会	

第 2 日 7 月 7 日（日）

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受付	自由研究発表	昼食	課題研究発表	

連絡先：日本国際理解教育学会第 23 回研究大会実行委員会

〒731-0192 広島市安佐南区祇園 5 丁目 37-1

広島経済大学 田中泉研究室

Tel : 082-871-4836 E-mail : iz-tana@hue.ac.jp

第1日目 7月6日(土)

自由研究発表 第1分科会～第6分科会 (9:30～12:00)

自由研究発表は、発表20分、質疑応答10分の30分です。当日は、タイムキーパーから15分、20分、30分に鈴でお知らせします。30分のときには、発表の途中でもあっても直ちに終了をお願いしますので、ご了承ください。

※司会者のお名前に関しましては、五十音順に掲載しております。

◆第1分科会：122教室

司会：石森広美（宮城県立仙台東高校）
井ノ口貴史（京都橘大学）

- (1) 参加型で学ぶ平和学習の教材開発
有森 歩（広島市立緑小学校）
- (2) 2014年ユネスコ世界大会 高校生フォーラムへのプロセス
－2012年度準備セミナー&3か国フォーラムからの成果と課題－
伊井直比呂・内本雅之・大島弘和・大野浩志・竹村紗季・棚橋慶恵（大阪府立大学）
- (3) 東アジアにおける歴史教育と日本：植民地と戦争の歴史を中心に
柴田政子（筑波大学）
- (4) 平和学習と憲法学習
河原和之（立命館大学）
- (5) 加害と被害の歴史を持つ者の和解方途は ー地域・世界遺産と平和教育ー
田淵五十生（福山市立大学）

◆第2分科会：123教室

司会：桐谷正信（埼玉大学）
嶺井明子（筑波大学）

- (1) 国際理解教育を柱に据えた学校経営
林敏博（名古屋市立蓬来小学校）
- (2) 国際理解教育におけるファシリテーション
石川一喜（拓殖大学）
- (3) 中国内陸部と発展地区の国際理解教育の現状について
秦莉（奈良女子大学大学院）
- (4) 日本におけるオルタナティブ教育開発
飯沼瑞穂・佐々木正徳（東京工科大学）
- (5) オートエスノグラフィーとしての国際理解教育実践史
成田喜一郎（東京学芸大学）

◆第3分科会：124教室

司会：森田真樹（立命館大学）
山西優二（早稲田大学）

- (1) ことばの学習・多言語・多文化教材を活用した新井小学校での実践
山西優二（早稲田大学）
秦さやか（中野区立新井小学校）・黒川悠輔（早稲田大学大学院）・宮野祥子（早稲田大学大学院）
岩坂泰子（奈良教育大学）・大山万容（京都大学（大学院））・丸山英樹（国立教育政策研究所）
- (2) 男ことば・女ことばを『国際理解する』 ー日本語教育実践の現場からー

佐藤美和（立教大学）・岡本能里子（東京国際大学）・服部圭子（近畿大学）

(3) 批判的言語意識の概念にもとづく教育実践の検討

黒川悠輔（早稲田大学大学院）

(4) 共生のための言語教育実践に向けて ―大学生を対象とした演習から―

横田和子（早稲田大学）

(5) 国際理解教育における民話のもつ可能性

竹本紗野香（早稲田大学大学院）

◆第4分科会：132 教室

司会：宇土泰寛（相山女学園大学）

永田佳之（聖心女子大学）

(1) 『総合的な学力』の向上をめざした小中一貫の教育システムによるESDの実践

中井精一（堺市立八上小学校）

(2) ESD のための世界史教育内容編成論

―グローバルラーニングのカリキュラムフレームワークを手がかりに―

祐岡武志（奈良県立法隆寺国際高等学校）

(3) 国際的な潮流から見た日本における ESD の独自性と実践課題

永田佳之（聖心女子大学）

(4) 構成主義による ESD の学び

中澤静男（奈良教育大学）

(5) 大陸を越えた水と生活についてのESDプロジェクト活動

宇土泰寛（相山女学園大学）

◆第5分科会：133 教室

司会：釜田 聡（上越教育大学）

南美佐江（奈良女子大学附属中等教育学校）

(1) 国際理解教育と日中相互理解

棚橋寛一（京都文教中学高等学校）

(2) 多文化教育の教材としての韓国伝統芸能「プンムル」の可能性

磯田三津子（埼玉大学）

(3) 留学生の文化教育を通じた平和教育の接近

キム ソンミ（Chung-ang Univ. 国際教育院）

(4) A Study on Korea-China-Japan Youth Exchange Program

キム タウオン（Catholic Univ.）

(5) 世界市民意識教育

―デンマークと韓国の事例比較―

ソ キョンジョン（京畿道安山聲浦中學校）

◆第6分科会：134 教室

司会：橋崎頼子（奈良教育大学）

渡辺 淳（日本大学）

(1) 留学生へのシティズンシップ教育

村田晶子（関西大学）

(2) 「市民」および「地球市民」の概念についての検討

―ミャンマーとタイの社会科カリキュラム分析からの一考察―

小島文英（国際基督教大学）

- (3) 「アンネ・フランク」を素材にした高校における人権教育
— 高大連携による取り組みから —

伊藤亜希子 (山梨大学)
吉谷武志 (東京学芸大学)

- (4) 発達段階をふまえた多角的シティズンシップ育成のためのカリキュラム
— 欧州評議会の教師用指導書を手がかりに —

橋崎頼子 (奈良教育大学)

- (5) 自尊感情につながる対話型授業

藤田ラウンド幸世 (国際基督教大学)

総 会 : 121 教室 (13 : 00 ~ 14 : 00)

シンポジウム : 121 教室 (14 : 00 ~ 17 : 00)

◆平和教育と国際理解教育

司会 : 田中泉 (広島経済大学)
指定討論者 : 田淵五十生 (福山市立大学)

パネリスト

竹内久顕 (東京女子大学) : 日本の平和教育の蓄積と課題
福島在行 (広島平和記念資料館) : 広島平和記念資料館の展示方針
神垣しおり (広島ノートルダム清心中・高校) : 中・高6か年の平和学習の実践
卜部匡司 (広島市立大学) : ドイツの平和教育

趣 旨

現在、地球上では、平和をおびやかす要因として、領土紛争や民族対立・紛争以外にも、人権侵害、人口過密と貧困、資源・エネルギーや食糧不足、環境汚染・破壊などの課題が山積しています。それらの課題は、どれも1つの国家・地域の努力では解決は不可能なものばかりです。これらを解決するために、近年、国際理解教育は、持続可能な社会を指向する地球市民を育成するという目標をたててこれを推進しつつあります。本学会でもこれらの課題を扱った多くの実践報告が行われています。しかし、そもそも国際理解教育の原点は、世界から戦争や対立をなくそうという平和教育にありました。したがって、平和教育と国際理解教育は、本来的に同じベクトル上にあるはずですが、今回の研究大会では、世界最初の被爆地広島で、平和教育と国際理解教育の在り方について、4人のシンポジストの報告をもとに考えます。

懇 親 会 (18 : 15 ~ 20 : 15)

- ・ 会 場 : ホテル広島ガーデンパレス (広島市東区光町 1-15 Tel. 082-262-1122)
- ・ 会 費 : 5000 円

※懇親会会場へは、バスを手配しております。シンポジウム終了の約 15 分後に出発します。
ご自分で行かれる方は、JR 広島駅新幹線口から南東方向に徒歩で約 10 分です。

第2日目 7月7日(日)

自由研究発表 第7分科会～第12分科会 (9:30～12:00)

◆第7分科会：122教室

司会：田淵五十生（福山市立大学）
成田喜一郎（東京学芸大学）

(1) 変容的学習としての開発教育

山中信幸（柳学園中学・高等学校）

(2) アフリカSDゲーム 実践報告

辻 良隆（大阪市立汎愛高等学校）

(3) 中国人留学生による民族衣装を題材にした家庭科教育と国際理解教育を関連づけた授業実践

原 瑞穂・半田彩実（上越教育大学）

(4) 日本社会科教科書における韓国認識

キム ヒョジン（北海道教育大学）

(5) 大学生による国際交流学習支援のあり方

清水和久（金沢星稜大学）

◆第8分科会：123教室

司会：中山京子（帝京大学）
福山文子（中央大学）

(1) 小学校における国際交流活動の成果と課題

田上達人（安曇野市立穂高北小学校）

(2) 話すことが楽しい！聞くことがおもしろい！

—小学1年生による国際交流・共同壁画制作活動の実践を通して—

西野聡子（金沢市立浅野川小学校）

(3) 北海道・沖縄の伝統文化から学ぶ

—小学校3年生の図画工作科での実践—

山田幸生（葛城市立磐城小学校）

(4) スウェーデンにおける多文化共生社会の課題

—学校選択制と経費削減を手掛かりに—

福山文子（中央大学）

◆第9分科会：124教室

司会：今田晃一（文教大学）
吉村雅仁（奈良教育大学）

(1) 中学生の言語意識についての一考察

—複数言語を取り入れた英語科授業での試みから—

阿波根寛英（香芝市立香芝西中学校）

(2) 高等学校検定教科書「英語I」の題材にみるグローバル・シティズンシップ教育の可能性

長谷川功（桐蔭学園中学・高等学校）

(3) 英語授業におけるALT活用に関する一考察

南美佐江（奈良女子大学附属中等教育学校・関西大学大学院）

(4) 国際理解教育を視点にした小学校教科書の分析と英語教育の一考察

横山 聡洋（京都文教短期大学附属小学校）

◆第10分科会：132教室

司会：伊井直比呂（大阪府立大学）
横田和子（早稲田大学）

- (1) 〈あいだ〉を学ぶかまえについての思考実験
ー他なるものが出会う場における学びの創造のためにー
吉田直子（聖心女子大学大学院）
- (2) クラスメートや地域から考える国際理解学習
太田満（川崎市立稲田小学校）
- (3) マイノリティーを考える授業実践 ー左利きを題材としてー
久保哲成（兵庫県立柏原高等学校）
- (4) 国際カップルの子育て戦略 ー日中韓三国間の国際結婚カップルを中心にー
渡辺幸倫（相模女子大学）
- (5) 国際理解教育と文化的参加
林加奈子（桜美林大学）

◆第11分科会：133教室

司会：織田雪江（同志社中学校・高等学校）
森茂岳雄（中央大学）

- (1) 国際理解教育における多文化カリキュラムの可能性
ー国際バカロレアに基づいた中学校社会科地理的分野を事例にしてー
津山直樹（中央大学大学院）
- (2) 消費者市民社会をめざす社会科教育実践
ーコンゴの資源紛争と日本の消費生活のつながり
華井和代（東京大学大学院）
- (3) 中学校社会科における文化的多様性と宗教の学習の課題
木村真冬（お茶の水女子大学附属中学校）
- (4) 国際理解学習が育む「新しい能力」 ー高校生の学びー
石森広美（宮城県立仙台東高校）
- (5) 多文化共生を意識した世界史
山本勝治（東京学芸大学附属国際中等学校）

◆第12分科会：134教室

司会：藤原孝章（同志社女子大学）
松井克行（西九州大学）

- (1) 海外研修の開発から実践まで
空閑知子（京都女子中学校・高等学校）
- (2) キャリア教育としてのスタディツアーの意義に関する一考察
ー高等専門学校での事例からー
荒川裕紀（国立北九州工業高等専門学校）
- (3) スタディツアーの国際理解教育としての有効性に関する研究
大滝 修（茨城県立取手第一高校）
- (4) 国際理解教育および開発教育支援事業の教育的効果に関する報告
ーJICA 東北の調査結果からー
市瀬智紀（宮城教育大学）
- (5) JICA 教師海外研修と国際理解教育 ー変遷と現状についてー
松井克行（西九州大学）

特定課題研究：121教室（13：00～16：00）

◆「海外研修・スタディツアーと国際理解教育」

コーディネーター：藤原孝章（報告者：下線部）

A：栗山丈弘（文化学園大学）、藤原孝章（同志社女子大学）

B：居城勝彦（東京学芸大学附属世田谷小学校）、中山京子（帝京大学）、織田雪江（同志社中学校・高等学校）

C：大滝修（茨城県立取手第一高等学校）、森茂岳雄（中央大学）、津山直樹（中央大学大学院生）、橋崎頼子（奈良教育大学）

D：金田修治（大阪府立三島高等学校）、山中信幸（柳学園中学・高等学校）、堀幸美（江別市立大麻東小学校）、松井克行（西九州大学）

趣 旨

海外研修や国際交流として実施されている国際理解教育の学習活動を、「スタディツアーとしてのツーリズム」と捉え、その内容と方法上の意義と課題を明らかにしていきます。共同研究の参加者は自らの参加体験や企画実践、先行研究等を踏まえ、テーマに関する「研究枠組み」を創りました。そして、枠組みに応じて、A 実践報告から研究への視座（スタディツアー論）、B スタディツアー参加者の学習変容論、C ゲスト（参加者）とホスト（受け入れ側）との臨床的交流論、D 教員海外研修と教材開発論という4つの研究グループをつくりました。大会では共同研究メンバー（代表者）による口頭発表、資料提示をしていきます。

大会参加費、懇親会費、昼食等

本大会の参加申込み手続きは、日本旅行広島支店に委託しています。6月14日（金）までに、下記のWebサイト（ホームページ）の参加登録ページで行ってください。Webサイト上では、参加登録のほか、昼食弁当（両日）、懇親会、宿泊の申込みも可能です。当日の受付は、混雑が予想されますので、大会参加費、昼食弁当代、懇親会費、宿泊代のお支払につきましては、申込み用Webサイト内のご案内に従って、事前に、6月21日（金）までにお支払いただきますよう、お願いいたします。オンライン・クレジット決済、コンビニ決済、銀行振込がご利用できます。

期限直前に支払われた方は、当日、念のため、「支払い領収書」「振込受領証」など、お支払を証明するものをお持ちください。お支払が確認できない場合は、当日お支払い頂くこともありますので、ご注意ください。

- ・参加申し込み用Webサイト：<<https://v3.apollon.nta.co.jp/kokusairikai/>>（Webサイトには、日本国際理解教育学会のHPから入ることができます。）
- ・大会参加申込み締切および大会参加費等振込期限：6月21日（金）

◆大会参加費

- ・一般 事前支払 3,000円 当日支払 3,500円 ・学生 事前支払・当日支払とも 2,000円

*当日の受付は混雑が予想されますので、事前にお振り込みいただきますよう、お願い申し上げます。懇親会費、昼食弁当代、宿泊費等と一緒に、お支払いいただけます。なお、お振り込み頂きました額は、不参加の場合でも返金しかねますので、ご了承ください。

◆昼食

7月6日（土）・7日（日）の両日も学内食堂は休業です。また、学内に小さなコンビニはありますが、大学近隣には飲食店やコンビニはありません。なるべく、お弁当（1食1,000円）を予約していただきますようお願いいたします。

◆懇親会

- ・日 時：2013年7月6日（土） 18：00より
- ・会 場：広島ガーデンパレス（広島市東区光町1-15 Tel.082-262-1122）
- ・会 費：5,000円 ※大学から懇親会会場までは、貸切バスにてお送りしますので、ご利用ください。

◆大会当日の案内

- ・2013年7月6日（土）、7日（日）ともに、午前9時より受付を開始いたします。
- ・事前申込をされた方は、受付にて名札、大会抄録をお受け取りください。
- ・当日参加の方は、当日参加申込書にご記入の上、受付にて参加費をお納めください。

交通アクセス

広島経済大学大学ホームページ（<http://www.hue.ac.jp/access/index.html>）を参照してください。

研究大会会場の広島経済大学は最寄りのJR可部線下祇園（しもぎおん）駅から、徒歩にて約15分です。当日は、下祇園駅近くのバスターミナルから、スクールバスを運行しますのでご利用ください。JR可部線は、JR広島駅からの直通運転です。両日とも、JR可部線大町駅からのスクールバス、およびJR広島駅からの路線バス（広島交通）は、運休です。また、下祇園駅にタクシーは常駐しておりません。

広 島 空 港	リムジンバス(新幹線口行) ----- <約45分>	JR広島駅	JR可部線(可部行) =====	JR下祇園駅	スクールバス<5分> ----- 徒歩<15分>	広島経済大学 (1号館)
			市内電車	路線バス <約30分>	※スクールバス乗場は、下祇園駅前を左側に進み、 左折後、踏切を渡ったところにあります。	
	リムジンバス(バスセンター行) ----- <約50分>	広島バスセンター (紙屋町)	市内中心部 (八丁堀)			
			広島経済大学 立町キャンパス (理事会)			